

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ままはぐ大阪福島事業所（放デイ）		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 2日		～ R8年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	R8年 2月 2日		～ R8年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	避難場所を確認したり外気に触れ季節の移ろいを感じるため近隣の公園へ散歩に出かける。	日々身体を動かすことで基礎体力の維持向上が期待できる。	体力に応じ少し遠くの公園へ出かけていく。
2	育児での悩みや家庭での課題の相談	施設において、保護者の信頼を得るために育児に対し取り組みや悩みなどがある場合は保護者の声を聴き、対策を共に考えアドバイスやアイデアを提供している。	送迎時、保護者様との引渡しの際にコミュニケーションを密に取り、安心して児童を預らせて戴き、継続したご利用を戴いている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない	散歩など外出時に挨拶を交わす程度の関わりがあるも、地域で開催する交流などの時間が合わず参加する事が出来ていない。	地域との関わりを増やすために、地域で開催される交流会・講習会に参加できるように徐々に交流を深めていきたい。
2			
3			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名		ままはぐ大阪福島事業所（放デイ）					
		公表日 R8年3月10日					
		利用児童数 4名			回収数 4		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4				基準に定められた広さ以上を確保しておりますが、必要に応じて他施設を借りるなど引き続き工夫し対応していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4				基準に定められた人員を確保し配置しておも児童の特性や人数に応じて配置できるように努めている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4				身体的に不自由な条件の方へも対応可能なようにバリアフリーとなっている。視覚障害のあるへ方は安全に歩行できるように床や足元に物を置くのを避け、職員が声かけや見守りを行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4				活動で使用した道具や室内、車内の清掃消毒は毎日実施。エアコンの掃除や活動中の換気や温度設定、加湿などの感染対策も実施している。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				日々の様子やアセスメントに基づき、児童一人ひとりの課題に合う支援方法を提供出来るよう共有している。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4				2025年3月にワムネットに公表している。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4				9月よりアセスメント様式を見直しをし、よりニーズや課題を客観的に分析し個別支援計画が作成出来るようにしている。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4				2024年度12月よりガイドラインに沿った必要な項目を設定し個別支援計画の策定を実施している。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4				日々の記録の中で実際の支援と個別支援計画の支援とに誤差を感じることもあるため、計画内容を実際の支援に沿うように共有方法を再度検討していく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4				年鑑計画に沿って月や日々の活動予定を実施。固定化された物もあるが、児童に合わせて工夫を重ねていく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2		1	1	特に必要ありません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4				契約時に運営規定について重要事項説明書を読み、内容を確認する。支援プログラムは2025年3月にワムネットに掲示する。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4				アセスメントやモニタリングの後、個別支援計画について説明をし承諾を得ている。不明な点や疑問点がある場合随時問い合わせいただく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3		1		ご家族向けのプログラムの準備はなされていないが、今後イベントなどの開催時にはLineや書簡でお知らせをしていく。研修会や情報提供も同様に実施していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4				個別支援計画に基づき児童の特性や課題について共通理解を得ている。その日の状態については送迎時にLineや電話を利用して連絡を密に取っている。気になることはいつでも連絡戴く。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				送迎時やLine、電話、相談。面談での相談など随時受け付けている。保護者や児童の不安や疑問が解決できるようにしていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				集団活動を中心に、目標を目指し一人ひとりの目標や課題に応じた支援を実施していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		1	1	父母会や保護者会の開催は出来ていないが、今後ご家族(兄弟や保護者)参加型のイベントなど交流会、講習会で相談や面談を行う事が出来る。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4				ご意見やご要望があった場合は早期解決できるように心掛け、疑問や不安が解消出来るようにしている。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				児童の特性に合わせて、視覚・聴覚情報に応じて支援するようしており、保護者への連絡はLineや電話、SNSを使い分けて複数回お知らせできるようにしている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4			・スタッフの方々の名前が全員わからないので、一覧などいただければ本人との会話も広がりますので嬉しいです。	スタッフの増員や入れ替わりなどありますので、その都度写真やイラストなどでお知らせできるようにしていきます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3			1		個人情報については丁寧に扱い、職員と同意書を交わし、派遣の方々とも個人情報の注意事項に同意載っている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			1		厚生労働省、子ども家庭庁の通知に従い、各種マニュアルを整備し、契約時や調整時に保護者へ適宜説明を行っている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			1		非常災害時用リュックを事業所で準備し、避難訓練は地震と火災を想定して年2回実施している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1		安全計画、防犯安全対策指針マニュアルを整備している。今後安全計画についてHPなどで公開し、防犯訓練を年1回実施していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4					体調不良や怪我等が児童の変化について、送迎や発生時に、口頭やLine、電話で連絡をしている。連絡がつかない場合は重ねて連絡する場合があるため契約時以降も都度説明している。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4				・そう思います。	児童が安心して過ごせる場所として、今後も職員の整備、児童の特性や年齢に配慮出来るようにしていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4				・家に戻るのを渋るぐらい毎回楽しみにしています。	児童の成長に伴い思春期になると通うことが億劫に感じることもあり、気持ちに波があるようだが笑顔で過ごせられるようにしていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				・リハビリや専門的なサポートいつもありがたございます。本人も楽しく通っています。 ・とても満足しています。	日頃から事業所の運営にご理解とご協力をいただき感謝いたします。児童の自立に向け今後もより良い支援が提供できるように邁進していく。

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	ままはぐ大阪福島事業所（放デイ）				公表日	R8年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			基準で定められた以上のスペースを確保している。落ち着くスペースの確保もパーテーションを使用している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			基準で定められた職員数と加配の人員を配置しているが、利用児童の特性や人数に応じて配置数を考えている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		クッションマットの配色が子供に刺激になっている所があるが配置を考え工夫している。	身体的特徴のある利用児童以外に対しても事業所全体がバリアフリーになっている。今後利用児童の特性に応じた環境整備をしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			床の上にカーペットが直貼りになっているため利用児童の使用範囲はクッションマットを敷いている。利用後は掃除機をかけた後、拭拭している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	パーテーション等を使用し、状況に応じて個別に対応している。	個別の空間を作るためにパーテーション等を使用し、状況に応じて個別に対応している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3	ある時とない時がある。 なかなか会議を開催する時間がないが必要事項は共有メール等を使用している。	振り返り等会議を開催する時間がないが必要事項は共有メール等を出来ている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	今後必要があればしていきたいと思う。	情報共有メール等を活用しているが改善出来たのかの評価は出ていない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		業務に追われているが声出しやコミュニケーションを取ることで以前より改善出来ている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	外部評価の実行されているかわからないので"いいえ"にしました。	第三者評価は行ってないが、系列事業所との連携を取り意見交換を行っている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	案内があり、自分のためになるものであれば参加したい。 研修等に参加するじかんがとれない。	研修等に参加するじかんがとれない。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		今後、内容の見直し等検討していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	2	十分に評価や分析ができていないが、情報共有できる工夫はしている。	アセスメントの様式を見直しし、情報共有できる工夫はしている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	3	時間がなく、スタッフ全員ではないが一部のスタッフと共有し検討する努力はしている。	時間に余裕がなく、スタッフ全員ではないが一部のスタッフと共有し検討、後に周知している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2		計画の内容を実際の支援と沿わせられるように共有方法を検討していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	十分に出来ていない。	保護者、家族、本人の状況変化に応じた日々の変化等は経過記録に追加し支援に反映させている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2	検討会議の場を設け、共有できる。	R6年度のガイドラインに沿い、必要な項目を設定し個別支援計画を作成している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	チームで行なっているか不明なので"いいえ"にしました。	常に、活動内容について発言できる環境にあり、活動内容や行事の準備等チームで協力して行なっている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	子どものやりたいに合わせたりとその子に合った活動、必要な活動をしていると思います。	季節に合わせてたり、利用児童の年齢や発達を考慮して工夫している。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		集団活動でルールを守り、手指を使うなどの取り組みの個別活動で支援を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	午後からの勤務が多いため開始前の様子がわかりません。	役割分担で記録している。偏りのないように配慮している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	ある時は振り返りなどしている。	役割分担で記録している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		毎回、記録し情報共有している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1		保護者へ児童の様子を伺い、6カ月以内のモニタリングを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	1		4つの基本活動①日常生活の充実と自立支援のための活動②多様な遊びや体験活動③地域交流の活動④こどもが主体的に参画できる活動、を組み合わせ合わせて行っている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			自己選択の支援については職員数の充実や個々がスキルアップしていけるようにしていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	勤務が少ないため出席できていない。	実際に支援にかかわっているスタッフが参加し、後に全体で共有している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		地域のCLや利用児童が通っている幼稚園や施設と連絡をとっている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1		併行利用があるも、移行に向けて児童の該当はない。保護者との情報共有は行われている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		保護者からの希望があった時や求められた時に情報共有している。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	今後必要があればしていきたいと思う。	該当児童がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	わかりません。	児童発達支援センターとのスーパーバイズは行っていないが、系列事業所からの意見を聞くなどしている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	交流があればしていきたいと思う。	挨拶を交わす程度、今後交流の機会を持つ働きかけをしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5	わかりません。	自立支援協議会には参加できていないが、今後参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1		提供記録をLineや電話で共有している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		家族向けのプログラムの準備はなされていないが、今後何らかの機会を設けていく。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		契約時に重要事項説明書の中に記載されている内容が運営規定であるため説明を実施している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1		保護者からの意向を確認し、作成している。利用児童では確認し難い。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1		必ず説明を行い同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1		相談があった後は、職員間で共有している。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4	今後あればともいと思う。	父母会等定期的な活動は出来ていない。今後保護者達と交流の場を持てるよう検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		相談があった場合は、迅速に対応し誠意を持って解決できるようにしている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1		インスタグラムやSNSを利用して支援内容や行事の様子等を掲載している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			繊細な内容なので十分注意を払い同意を得て取り扱っている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1		言葉や表現の仕方等伝わる様に工夫している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		行事に地域の方々を招待することが出来ていない。今後、実習生やボランティアの受入等も検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		各種マニュアルを策定し、スタッフに研修などを周知し、避難・防犯訓練については保護者へも都度周知している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		避難訓練やBCP訓練を定期的に行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			服薬・てんかん発作等確認し、発作時の対応等は保護者に確認し職員間で共有している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			食事の提供はないが、症状など必要に応じてできる限りの対応を行っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		安全計画を策定し、研修・訓練を年1回以上実施している。安全確認も毎月実施している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		安全計画について保護者へ周知している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1		ヒヤリハット事例について検討をし、再発防止に努めている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		職員間で共有している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1		身体拘束適正化のため、指針やマニュアルを整備し、該当者はいないが、該当する場合は計画書に記載や話し合いを実施していく。	